

春休みに食べて「元気便」

松江のフードバンク、食品箱詰め



ボランティアが松江のフードバンクに食品を詰める様子

R4.3.11(日) 朝日

生活に困っている子どもがいる世帯に食品を送る取り組みをしている「フードバンクしまね」あつたか元気便(松江市)が、給食がない春休みに発送する食品の箱詰め作業を始めている。食品を送るのは、市内六つの小学校と五つの中学校の就学援助世帯の中から、申し込みがあった277世帯。初日の8日は、ボランティアや事務局スタッフら

約20人が食品の仕分けと箱詰めをした。4人世帯向けの箱に米12kg、お菓子、即席麺などの食品、マスクや生理用品を詰め、最後に「心配事があれば相談を」と書いていたメッセージを入れて箱を閉じた。食品と段ボール箱は多くが寄付で集まったが、人気がある甘口のレトルトカレーなどは購入した。箱詰め作業は計4日間続け、16日

以降に発送したり、手渡ししたりする。

次の発送は来年度の夏休み前の予定。初めて参加した県立大3年の水本悠花さんは「食品を受け取る人に会うことはないが、つながりを感じるいい機会だった。継続して参加したい」と話した。(榊原織和)

家庭の学習環境学べるセミナー

松江で21日 参加者募集

子どもの成績アップや入試対策などについて学べる教育セミナー(朝日新聞社主催、県教育委員会後援)が21日、松江市朝日町の松江テルサで開かれる。参加無料で、小中学生の保護者の参加者を募集している。

「お子さまがより学べる

家庭環境とは

?」のタイトル

で、朝日学

生新聞社の高

